

5-C クロベ(黒檜)の巨木

(別名ネズコ)

ヒノキ科クロベ
Thuja standishii

■クロベの巨木評価基準

- A 幹周おおむね9m以上の単幹樹、同等評価のクロベの巨木。
- B 幹周おおむね7~9mの単幹樹、同等評価のクロベの巨木。
- C B評価以下のクロベの巨木。

■クロベ(ネズコ)の巨木

2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	小松の千年クロベ 写真 K-001	M10.01m(1.3m 2012)	21.5m	宮城県栗原市花山本沢小松平	なし
A	平湯の大ネズコ 写真 K-002	M9.92m(1.3m 2008)	23m	岐阜県高山市平湯	なし
A	黒部の大クロベ 写真 K-003	M10.8m(1.3m 2014)	20m	富山県中新川郡立山町黒部湖	なし
A	上倉山のクロベ 写真 K-004	9.27m	20m	山形県西村山郡朝日町木立外上倉山	なし
B	木島平の大ネズコ 写真 K-005	株周 M10.82m(1.3 2012)	28m	長野県下高井郡木島平村高標山尾根	なし
B	川原毛の大ネズコ(下株) 写真 K-006	M8.22m(1.3m 2014)	24m	秋田県湯沢市高松川原毛	なし
B	川原毛の大ネズコ(上株) 写真 K-007	M株周 10.98m(0.5 2014)	24m	〃	なし
B	十二本クロベ 写真 K-008	株周 M12.4m(0.3 2014)	20m	長野県山ノ内町志賀高原	なし
B	権現の愛木 写真 K-009	M7.6m(1.3m 2009)	15m	石川県白山市一ノ瀬 六万山尾根	なし
B	軍沢の大ネズコ 写真 K-010	9.4m(2m で4分岐、一本破損)	31m	秋田県湯沢市秋の宮 軍沢岳尾根	なし
C	千年クロベ前立ちのクロベ 写真 K-012	M6.85m(1.3m 2012)	20m	宮城県栗原市花山本沢小松平	なし
C	弘前公園のネズコ 写真 K-013	5.58m	17.5m	青森県弘前市白金町	なし
C	岩神権現のクロベ 写真 K-014	株周 M11.0m(上部0.2 2006)	25m	山形県最上郡大蔵村南山字栗山村	村
C	縄文のクロベ 写真 K-015	M6.8m(1.3m 2014)	22m	山形県最上郡真室川町加無山林道	なし
C	白馬岩岳のネズコ 写真 K-016	株周 7.8m	20m	長野県北安曇郡白馬村北条	なし
C	徳久保のネズコ 写真 K-017	株周 7.5m	27m	静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家	なし
C	美女平のクロベ 写真 K-018	株周 M9.5m(1.3m 2014)	15m	富山県中新川郡立山町美女平	なし
C	千年クロベ目印のクロベ 写真 K-019	M4.5m(1.3m 2012)	15m	宮城県栗原市花山本沢小松平	なし
C	湯西川のネズコ大木	7.7m(2m で3分岐)	25m	栃木県日光市湯西川字川戸	市

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
C	会津朝日岳の大クロベ 写真 K-020	5.35m	22m	福島県会津郡只見町 会津朝日岳尾根	なし
	折立の大クロベ 写真 K-021	不明	不明	富山県富山市有峰	なし
	白毛門の大クロベ	不明	不明	群馬県利根郡みなかみ町湯絵曾	なし
	大品山のクロベ 写真 K-022	不明	不明	富山県富山市有峰 大品山尾根	なし

クロベの巨木位置図

クロベの巨木のほとんどは天然で、日本海側の標高千 m 付近の尾根に分布が集中している。ほとんど近年発見されたもので、まだ道の無い場所に、未発見の巨木が存在する可能性がある。



写真 K-004

かみくらやま 上倉山のクロベ

発見当初は日本一のクロベとして知られ、有名な朝日岳の近くにある事から「朝日のクロベ」と呼ばれていた。近年は朝日岳の尾根のピークである、上倉山の山頂近くにある事から上倉山のクロベと呼ばれるようになった。近年次々と巨大なクロベが発見されるようになって、あまり騒がれなくなったが、単幹クロベの巨木としては日本有数であることに違いはない。(写真・Web画像)

写真 K-001

日本一のクロベ

こひのき 小松の千年クロベ

日本一のクロベの座は近年変遷を続けている。山形県の岩神権現のクロベが幹周 12.2m で一位と言われていたが、これは根元で二分岐する樹形。山形県の朝日岳近く、上倉山の山頂近くで発見された「上倉山のクロベ」が幹周 9.27m で一位になった。続いて発見されたのが幹周 10.0m とされるこの「小松の千年クロベ」である。

長野県木島平村で幹周 M10.82m の「木島平の大ネズコ」が発見され、富山県の黒部湖で幹周 M10.18m の「黒部の大クロベ」が見い出された。幹周の比較だけでは大きい方が上になる。しかし、日本一の決定には、幹周を参考にしながら、樹形等を検討しなければならない。

「木島平の大ネズコ」は古株更新で、根元分岐幹の二本の癒着樹形。「黒部の大クロベ」は、背後に岩を抱く樹形で、測定部が膨らんだもの。調査の結果から、樹形と幹周を検討し、日本一は「小松の千年クロベ」とした。

千年クロベも古株更新の樹形で、主幹には古株の痕跡が残っている。(下写真・中央空洞部に古株があった)



◀写真 K-012

千年クロベ前立ちのクロベ

上記千年クロベへ進入するルートにあり、千年クロベがあまりに巨大なため、無視されてきたが、クロベの巨木として十分な大きさがある。

写真 K-019▶

千年クロベ目印のクロベ
林道から千年クロベへ進入する目印になっている。これでもなかなかのクロベの巨木である。

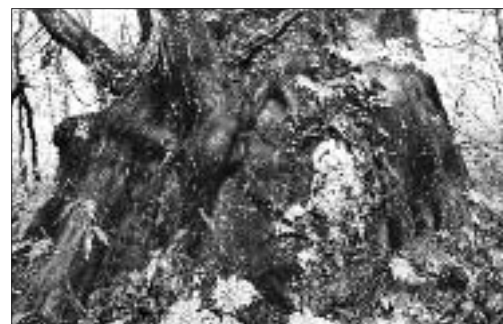


写真 K-002

ひらゆ 平湯の大ネズコ

根元近くが大きく膨らみ、上部ですぼまる樹形をしていて、測定位置によって大きく数字が変化する巨木である。山側 1.3m 地点の測定値は幹周 9.0m、根周 11.0m である。M 式では幹周 M9.92m。実感される大きさが表現できた。

6m で 3 分岐、背後の根元より細いひこばえが 4 本出る。M 式ではこのひこばえは測定しない。



◀写真 K-003

くろべ 黒部の大クロベ

黒部ダムから徒歩 30 分程の、御山谷半島という、ダム湖によってできた半島の中程に立つ。見事なクロベの巨木で、幹周も千年クロベを僅かに越える。しかし、背後に大岩を抱く事や(上写真)、地上 1.5m 付近で背後の主幹が極端に細くなり、2m で大小 4 分岐する樹形等から判断して、二位にランクすると結論づけた。

天然クロベで、手前の根元が大きく凹んでいるのは、古株があった可能性がある。その根拠の一つが、中央に残る古株の枝である(左写真中央白い部分)。新しい幹が古株の枝を巻込んで、古株が朽ちても枝の一部が残った。そして、根元に新しい幹から伸びる根が発達した様子が伺える。



◀写真 K-005
きじまだいら
木島平の大ネズコ

古株更新で、伏条幹が3本融合した樹形。融合時、右幹に左幹の大枝が突き抜けている。(象の牙のような形をし、手前に伸びている) スギ等で二本の寄植えをすると、よく見られる現象。人の座っている空間に古株の痕跡があり、古株の朽ちた幹が根元近くに横たわっている。



▲写真 K-007
かわらげ
川原毛の大ネズコ (上株)

上部にあるネズコの巨木で、根元で2分岐、主幹は8mで多数に分岐するが、4本残してほとんど破損している。



▲写真 K-006
かわらげ
川原毛の大ネズコ (下株)

観光地、川原毛地獄からしばらく進んだ道路の下部に二本のネズコの巨木がある。下部にあるものは、古株更新の樹形で、古株が残っている。4mで4分岐する樹形。根上りになっているが、古株が残っているため、株周とかなかった。

写真 K-008▶
じゅうにほん
十二本クロベ

志賀高原の信州大学自然教育林内にあるクロベの怪樹。この怪樹は山頂近くの標高1,750m付近の尾根にあるもので、古株更新の成立を克明に物語る貴重な一本である。根元には古株の残骸が今も残り、何本かのクロベの実生伏条幹が絡みあうように成長している。周辺にある切株での平均年輪幅は1mm程度で、幹が細いが、これでも樹齢200年は経っている。





◀写真 K-009
ごんげん あいぼく
権現の愛木

巨木DBではヒノキとして掲載されている。クロベの誤認。地元の教育委員会の専門家によって、過去の調査資料からこの巨木が「権現の愛木」であることが判明した。権現とは白山を開山した泰澄大師の事。根元近くに伏条幹が立上がり、5~7mで4分岐する樹形で、根元に古株が残る事から、古株更新の樹形である。



▲写真 K-010
いくさざわ
軍沢の大ネズコ

4分岐していたが、一本が破損して巨大感はない。(写真・Web画像)



▲写真 K-013
ひろさき
弘前公園のネズコ



▲写真 K-014
いわがみごんげん
岩神権現のクロベ

日本一といわれたが、分岐幹合計周。



▲写真 K-015
じょうもん
縄文のクロベ

急斜面に立つため、根元が大きく広がる。巨木DB9.4mは、根周か？(写真・Web画像)



▲写真 K-016
はくばいわだけ
白馬岩岳のクロベ

株立ち樹形のクロベ。



▲写真 K-017
とつくぼ
徳久保のネズコ

根元で複数に分岐する株立ち樹形である。(写真・Web画像)

▼写真 K-018
びじょだいら
美女平のクロベ

天然杉の古株に着生したクロベの巨木である。



▼写真 K-020
あいづ
会津朝日岳の大クロベ

尾根にある単幹クロベ。(写真・Web画像)



▼写真 K-021
おりたて
折立の大クロベ

薬師岳登山口から登った所に立つ古株更新樹形。(Web画像)



▼写真 K-022
大品山のクロベ

大品山の尾根にある。(Web画像)

